

京都フランス歌曲協会及び会員による書籍・出版物

・フランス歌曲の珠玉 深い理解と演奏のために

著者と本の内容について：

現役のバリトン歌手フランソワ・ル・ルー氏によるフランス歌曲に関する著書です。彼はフランス、イタリア、ドイツのバロックから現代オペラまでの主要な役柄をこなし、欧米各国で活躍しています。またフランス歌曲のジャンルにおいてはパンゼラ、ベルナック、スゼー、モラーヌに次ぐ第一人者として高い評価を受けています。1997年にトゥールに国際フランス歌曲センター「アカデミー・フランシス・プーランク」を設立、芸術監督を務めています。2004年本書にて芸術アカデミー「ルネ・デュメルニス賞」を受賞しました。

この本ではまず言葉と音楽の関係の根源について概観を述べ、ついでフランス歌曲のレパートリーから52曲を厳選し、その各々にオリジナルの詩、譜例、指導目標を示しています。選ばれた52曲はフランス歌曲の始まりから現代に至るまで2世紀にわたるレパートリーを取り上げています。今までフランス歌曲をレパートリーに取り組もうとする演奏家が参考にできる書物はほとんどありません。唯一1987年に林田きみ子氏訳でピエール・ベルナックの著書「フランス歌曲の演奏解釈」が日本でも出版されているくらいです。従ってこの本は二冊目の本格的なフランス歌曲の演奏解釈の本と言えます。曲目は敢えてベルナックのものと重複しないように選ばれています。

訳者について：

翻訳は当協会の会員美山節子と山田兼士が担当しています。

最初の概論と全ての詩の訳をフランス詩専門の山田兼士、厳選された歌曲52曲の紹介と分析・解釈、演奏に関する指導の訳は声楽専門の美山節子が担当しました。

訳者のプロフィール詳細はホームページの会員一覧をご覧ください。

代金は定価(本体3,500円+税)です。購入をご希望の方は下記のいずれかの方法をお選びください。また当協会のコンサート会場では税抜きの3,500円で販売しております。



購入フォーム

- <https://ssl.form-mailer.jp/fms/4a1696dd577664>
- <https://amzn.to/2K1SULj>



・ドビュッシーとその周辺

当協会設立20周年を記念して2011年7月から2年にまたがってドビュッシーとその周辺をタイトルに全8回のドビュッシー・シリーズコンサートを開催しました。

この冊子は最終回（第8回）のコンサート声のアンサンブルと劇場音楽～選ばれし乙女・ペレアスとメリザンド～を催した際にプログラムを兼ねて聴衆の方々に配布するために出版されました。

全コンサートのタイトルを以下に挙げます。



- 第1回 若き日のドビュッシー
- 第2回 ドビュッシーと詩人たち
(レクチャーコンサート)
- 第3回 ドビュッシーとショーソ
ンワーグナーの影
- 第4回 雅な宴
ドビュッシーとヴェルレーヌ
- 第5回 響の庭
ドビュッシーとルーセル
- 第6回 小舟での別れ
ドビュッシーとカプレ
- 第7回 ペレアスとメリザンドを
めぐって (レクチャーコンサート)
- 第8回 声のアンサンブルと劇場音楽
～選ばれし乙女・ペレアスとメリザ
ンド～

コンサートのプログラムを写真や絵画それに楽譜も挿入しながら丁寧に解説しています。ドビュッシーの全貌を理解するための読本として十分に興味深いものとなっています。当協会にまだ在庫があります。コンサート会場で500円で販売しております。ご来場の際は手にとってご覧ください。またネット販売もしております下記の購入ホームからお求めください。

購入ホーム：<https://ssl.form-mailer.jp/fms/4a1696dd577664>

